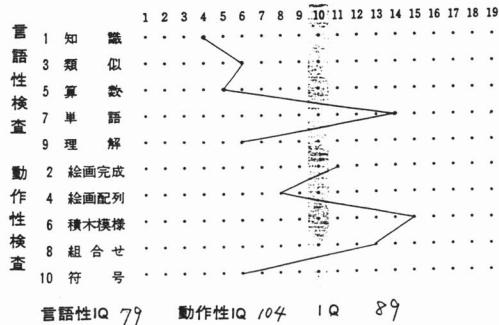
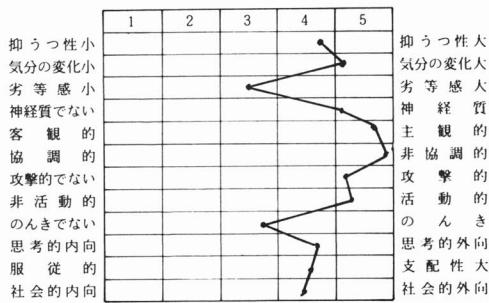


◎ 心理検査の結果

○ 個別式知能検査 (WISC-R)



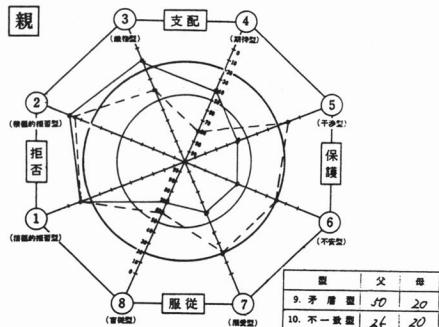
○ YG性格検査



○ 人物画テスト (HFD)



○ 親子関係診断検査 (田研式)



(2) 中学生の事例

面接でわかったこと。

- 小学3年頃から、現在まで寝つきが悪いこと、アイチックが続いている。現在ではさらに、肩すくみ（肩チック）があり、緊張場面では特に顕著である。
- 中学3年になり、登校時に頭痛や腹痛が起きる。医師からは精神的なものと診断された。
- 両親に対して反抗している。
- 日常生活において抑うつ性が高い。

↓

問題の背景に抑うつ性が大きく作用しているようと考えられる。

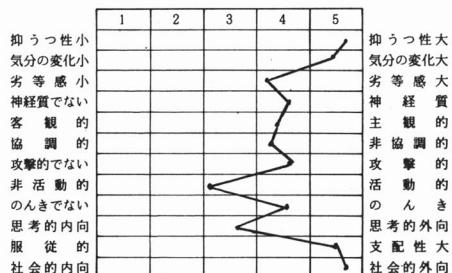
そこで、抑うつ性の強さやその原因として考えられる家庭環境の様子、さらに問題行動につながった規範性を把握する必要がある。

↓

(テスト・バッテリー)

- Y G性格検査 (以下YG)
- 親子関係診断検査 (以下PC)
- 問題性予測検査 (以下DAT)

○ Y G性格検査



特徴的なことは、情緒が非常に不安定であり、常にイライラしている様子がうかがえる。また、自分を認めてもらいたい傾向も強いが、自己表現が苦手である。さらに、日常生活の中で、自分の存在感を持っていない。